

すないる

2025.4.20(日) ニューオープン!



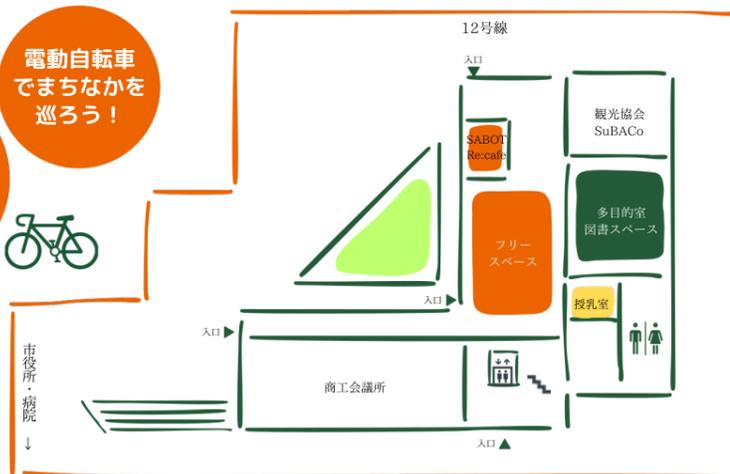
▶ **ドリンク片手にのんびりと**
JRやバスを待つ間に、散歩の途中に。飲食も自由。パソコン作業にもご利用ください。

▶ **SABOT Re:Cafe**
よい香りが漂ってきそうなオープンキッチン。ランチタイムもお楽しみください

▶ **気軽に窓口までどうぞ**
観光協会内には、私たち協力隊 SuBACoの拠点も。観光情報など気軽にお尋ねください。

▶ **まちの情報もすないるで**
イベント情報や店舗情報もGET。デジタルサイネージも要チェックです。

5/1~
今年も
レンタサイクル
はじまります!



電動自転車
でまちなかを
巡ろう!

観光協会にて
貸出し受付
しています

地域おこし協力隊の拠点「SuBACo」って?
「Sunagawa(スナガワ) Bank(バンク)Art(アート) Communication(コミュニケーション)」を略したもの。
商店街と消費者、大人と子どもなど、さまざまな人と人がつながり、集いがここから生まれ、SuBACoの外へと広がっていき、中心市街地への人の回遊を生み出すことを目指す情報発信の場です。



所在地 西1条北2丁目1-20
開館時間 8:30~19:00
電話番号 0125-74-7789
休館日 12/29~1/3
駐車場 約45台
施設管理 砂川商工会議所
砂川観光協会



▶ **屋外イベントも開催**
マルシェやビアガーデンなどを開催予定。天気の良い日は、外のベンチでひと休憩。

▶ **会議やセミナー利用も**
長机や椅子、プロジェクター、マイクなども設備もご用意しています

▶ **本や漫画を読んだり**
通常時は図書スペースとして開放している多目的室。好きな本を見つけてみては。

▶ **キッズコーナーも**
子どもたちが遊べる場所。広々とした授乳室も自由にご利用ください。



「賑わいと魅力を生むまちの居場所」へ
まちなかに気軽に立ち寄れて居心地がよい『居場所』となるようなエリアとなり、イベントや物販機能を中心とした『賑わい』づくり、砂川の情報を発信する『魅力』づくりを加えて、多くの市民をはじめ砂川を訪れる方にとっても親しみのある施設となることを目指しています。
子どもから大人まで、学校帰りや仕事帰り、買い物の帰りに、気軽に立ち寄ってくださいね!

**世界へ広がる1万円選書
いわた書店のこと**
すないるのお隣さん、「いわた選書」は知る人ぞ知る〈1万円選書〉で有名な本屋さんです。2004年にスタートしてから、これまで2万1千人程の方に選書した本を届けており、現在でも常時1,000人程の方が選書を心待ちにしているそう。(日本を飛び越えて海外からも応募があるとのこと!)
お店には、1万円選書によく登場する本が並んでいます。いわた書店だからこそラインナップは読書好きにはたまりません。
多目的室・図書コーナーにはいわたさん選書コーナーも設置予定です。砂川だからこそこの場所、お楽しみに。

**本を通して知る
砂川のこと、近郊の町のこと**
多目的室の図書スペースには、漫画から絵本まで様々な本が並び、自由に読むことができます。砂川市の歴史や町に根付いた企業やお店の本をはじめ、近隣市町にまつわる本・市内事業者の方に選んでいただいたお好きな本やおすすめの本が並んでいます。砂川についての新たな発見や、お店の方とコミュニケーションとるきっかけになるかもしれません。



**SABOTの新たなお店
【SABOT Re:Cafe】**
すないるから徒歩5分ほどの場所にあるレストラン「SABOT」の2号店がすないるにオープン!
店名のSABOTには「サボりに来れるような、肩ひじ張らずにいられる場所」という意味が込められているそう。SABOTでも人気のハンバーグやナポリタンやパスタなどお腹ごしらえができるメニューの他、ドリップコーヒーやドリンクも。
「子どもたちは外で遊びながら、中でゆっくりコーヒーをたのしむ、親子でも立ち寄ってもらえたら」と話す石田さん。ゆくゆくは市内の飲食店とのコラボや物販の販売なども考え中だそうです。

すないるから まちなか散策へ
砂川のお店や観光スポットを紹介しています
3年前のSuBACoに設置していた、砂川のお店を1店舗ずつ紹介するまちなかショップカードが復活しました!菓子店やカフェなどスイートロードのお店や、ランチができるお店など、魅力的なお店ばかり。随時更新していく予定なので、ぜひチェックしてみてくださいね。
フリースペース・多目的室・屋外広場は貸切り利用もできます。利用料金やルールなどの詳細は砂川市役所ホームページをご覧ください。

すないる ロゴに込められた思い
国道などから施設名称を認識しやすくするため、文字にデザイン性を持たせたロゴタイプを採用しています。老若男女が和気あいあいとした空間となるように、色合いが白背景でも黒背景でも見やすい色彩で落ち着いた配色を基本としています。建物は地域材を活用した木造であり、国道正面からガラス越しに木構造が映る特徴的なデザインを有していることから、内観に使われている柱などの木の色に引き立つような生い茂る葉をイメージした深緑と、実がなったような〇(丸)のイメージを暖色のだいたい色で表現しています。砂川市地域交流センターゆうのグリーンとオレンジとも呼応する配色とすることで駅前の賑わいという共通の目的を重ねつつ、さらに拡張させるような意図も持たせています。
砂川市ホームページより

